



平成27年10月6日～7日 豊橋組おてつぎ信行奉仕団参加の皆さん 岡田行弘さん、大木則子さん、今泉千代栄さん、杉本孝之さん、杉本ひで子さん、岡田良子さん、河合正恵さん、安藤はるゑさん

百八煩惱

除夜の鐘を叩くときに、煩惱の数として百八という数字が言われています。
ある説では、人間の感覚器官としての六根、つまり①眼 ②耳 ③鼻 ④舌 ⑤身 ⑥意 の六種に、
それぞれ苦・楽・不苦不楽・の三種があつて十八種となり、
その十八種にそれぞれ染と浄の二種があつて三十六種となり、
その三十六種に過去・現在・未来の三時があつて百八種となると説かれています。
私達は生きている限り煩惱から離れられません。それゆえ念仏を称え、阿弥陀仏に
帰依するのです。

[参拝案内] 総本山知恩院 伝宗伝戒道場満行式とお身拭式

浄土宗の僧侶には一生に2回の籠行おこもりがあります。

第1回目の籠行おこもりを伝宗伝戒道場でんしゅうでんかいどうじょうといたします。
お身拭式おみぬぐいしきとは知恩院御堂の法然上人の御像を、御門跡自ら拭かれる式
です。

期日

平成27年12月25日(金)

集合場所

豊橋駅新幹線改札前

集合時間

午前7時15分

日程

午前7時25分	新幹線こだま号乗車
午前9時30分	伝宗伝戒道場満行式
午前11時	法然上人御堂日中法要
正午	昼食
午後1時	お身拭式
午後4時59分	京都駅より乗車
午後6時26分	豊橋駅着 解散

申込締切

平成27年12月20日までに

費用

運賃は当日、個人で負担して下さい。

- 知恩院普通回向料5,000円
- 新幹線京都往復運賃14,020円

[参拝案内] 総本山知恩院 成人祝賀式

京都の知恩院では例年、新成人を祝う式を開催しています。普仙寺檀信徒または有縁の新成人の方にご参加頂きたくご案内します。

日時

平成28年1月16日(日)

会場

総本山知恩院(京都市東山区林下町)

対象

平成7年4月2日より平成8年4月1日までに生まれた方

日程

受付 午前9時

解散 午後3時

付添者

付き添いの方も式典に参加できます。

費用

運賃は当日、個人で負担して下さい。(参考・新幹線京都往復14,020円)知恩院の参加費用は要りません。

定員

ありません。

申込

申込用紙に必要事項を書いて普仙寺へ

締め切り

平成27年12月25日

住職の短歌

平成27年に詠んだ短歌の続き([前回は平成27年7月号](#))を掲載します。

東京のスカイツリーに初登り白雲ばかりガイド微笑む

吉右衛門主役番町皿屋敷疑う心恋の命運

雪被る滋賀の霊峰伊吹山巖としている男のようだ

花びらがオレンジ色の金盞花寒い朝でも光っているね

立春の濃尾平野に見えるもの刈田の先の雪山の列

立春の光りを浴びた伊吹山白い雪面鏡のようだ

冬の日近鉄津駅ホームでは凍えながらも旗振る車掌

冬空に銀色名古屋テレビ塔化粧直した綺麗になあれ

二月には滋賀の平野は緑色麦の若芽が畑を被う

雪雲の中に隠れた伊吹山麓の町も白の風景

梅咲いた東京芝の増上寺隣の客も微笑み返す

幸せを祈る日今日はひな祭り今も昔も心は同じ

ロビーには早咲き桜台飾り心沸き立つ春のおとずれ

待っていた杏の花が咲き出した笑顔絶えない少女のようだ

寺行事案内

土曜礼拝 どうらいはい

毎週土曜日午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

◇法然上人御法語の予定

- 後編第6章 念佛付属
- 後編第7章 助正分別
- 後編第8章 安心起行
- 後編第9章 至誠心

月並法要 つきなみほうよう

平成27年12月8日(火)午後7時より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。

成道会じょうどうえ

平成27年12月8日(火)

お釈迦さまがお悟りを開かれた日。「成道讃」をお唱えしてお祝いします。